

第 18 回北広島市市民参加推進会議 会議概要

日 時	平成 23 年 6 月 28 日（金）午前 9：30～12：30	
場 所	中央会館集会室	
出席者	委 員 (6名)	金川委員、木村委員、上井委員、山野委員、佐藤委員、岩泉委員
	事 務 局	行政推進課 西沢主査、武田主査、川口主査
	傍 聴 者	0名
会議次第	<p>1 開会</p> <p>2 議題</p> <p style="margin-left: 20px;">(1) 議事録署名委員の指名</p> <p style="margin-left: 20px;">(2) 平成 22 年度市民参加手続きの評価について</p> <p>3 その他</p> <p>4 閉会</p>	
配布資料	<ul style="list-style-type: none"> ・平成 22 年度市民参加手続評価シート 	

1 開会

事務局から第 18 回市民参加推進会議の開催を宣言し、6 名の委員全員出席であり、会議が成立していることを報告

【会 長】 前は市民参加手続き評価シートについて評価の仕方をどうするかについてかなり時間を割きましたが、委員の皆さんが各自評価して今回の会議で検討するということになりました。私も評価してみました、A 適切である、B は普通あるいは一部改善の余地あり、C 改善の余地あり、バー (-) は評価できないという 4 段階の評価を当てはめるのはなかなか難しく感じました。総合的なランクはほとんど A かなと思いましたが、今日そこを皆さんで話し合いながら、評価をどうするか検討したいと思えます。

最初に議事録署名委員の指名ですが、前回上井委員にお願いしましたので、今回は山野委員にお願いします。

今まで、議事録は会議の前に各委員に配られていたのですが、どうなりましたか。

【事務局】 用意はしていたのですが、まだ完成版ではないので、後日各委員に送付したいと思います。

【A 委員】 今までは、次回の会議の時に出していたのです。

【事務局】 それでは、まだ完全版ではないといえますか、形式を整えていませんが帰りにお渡しします。

【A 委員】 この場で、訂正がありますとか話していたのです。

【事務局】 完成版にして、後日お送りすることで了解願います。

【会 長】 議題に入ります。平成 22 年度市民参加手続きの評価についてですが、まず皆さん方が持ち帰って検討した結果をどういう風に進めますか。

【C 委員】 一件ずつ進めましょう。

【副会長】 皆さん資料をご覧になって評価した結果をもっているという前提で進めましょう。それで各委員の意見が大きく違うところを調整しなければいけないですね。

【会 長】 そのような進め方でよろしいでしょうか。前回 2 件終わりましたが復習してみたいと思います。まず「次期総合計画の策定」ですが、これは全項目 A となりましたが、皆さんどうでしょう。

【A 委員】 最後の 1 回の審議会だからしょうがないでしょう。

【副会長】 適切という意味ではそんなに問題はないということでしょう。各項目 A で総合 A でいいですか。

【C 委員】 コメントで最終回という事情を含めての評価と記載してもいいと思います。

【A 委員】 コメントも同時にやっていきませんか。

【副会長】 コメントは、最終的に全員の最大公約数的なものを記載するというでよろしいですね。

【A 委員】 今評価しながらコメントも出してはどうですか。

【会 長】 お気づきのことやコメントも出していきましょう。

【A 委員】 私のコメントですが、最終の答申内容確認のための審議会、1 回だけの審議会での評価と注を入れましょう。

【副会長】 同感です。

【A 委員】 そうすると表の右側の欄が生きてくるのです。

- 【会 長】 1回では少ないということですか。
- 【A委員】 そうではないです。1回しか開催していないのでその評価ということですか。
- 【副会長】 本来1回では評価しづらいけれど、今までの継続的な流れを見て適正であるという評価を付けたと分かればいいのです。
- 【会 長】 皆さんそれでいいですか。それでは2番目の「平成23～25年度推進計画素案について」ですが、これは前回CABA-Aとなっております。
- 【A委員】 実施費用はどうですか。
- 【C委員】 パブコメだけで実施費用はかかっていませんから、Aで良いのではないですか。
- 【副会長】 Cを付けるというのは相対的にどういう位置づけになるか、全体を見直さないと分かりづらいですね。非常に問題ありの場合Cなのか、少しでも問題があればCなのか。
- 【C委員】 自己評価で、時期に問題があったと書かれているのでBあるいはCになるのではないのでしょうか。
- 【A委員】 反映・効果はどうでしたか。
- 【C委員】 バー(一)にしましたが、Aでもいいとも思います。
- 【A委員】 Cでもいいのではないですか。
- 【C委員】 効果なしということですか。
- 【A委員】 実施時期が悪く効果が出にくいので、反映効果されていないということですか。
- 【C委員】 パブコメ5件2人の参加があったということは、ある程度市民の声が反映されていると見てもいいのではないのでしょうか。
- 【A委員】 そうですか、それではBですか。
- 【C委員】 Aでいいと思います。
- 【A委員】 時期が悪いということはBでしょう。効果が出にくい設定だったということですか。
- 【C委員】 確かに実施時期がBですから、ここ反映効果もBかもしれませんね。
- 【会 長】 Bでいいですか。
- 【副会長】 参加人員はAですか。
- 【C委員】 5件2人の参加ですから、Aで良いのではないのでしょうか。
- 【会 長】 そうすると、CAAABAで良いですか。
- 【副会長】 Cがあるのに総合評価がAというのは矛盾を感じます。もうちょっと頑張ってもらいたいという意味を込めてBでどうですか。正直に自己評価を書いたほうが不利になったりしますが。
- 【A委員】 コメントとして、推進計画としては実施時期の設定がまずく、とっかかりが悪いということですか。
- 【D委員】 実施時期がまずかったというのは、平成23年度予算のパブコメと時期が重なったということであり、本来なら推進計画のパブコメはもう少し早めが良いだろうという自己評価です。ただ、そのことにより推進計画がズレたとか問題が生じたということではないのです。
- 【C委員】 市民参加手続きとして、予算のパブコメが出る前に推進計画のパブコメを出すことが望ましいという意味です。
- 【D委員】 実施時期という点ではBとかCの評価もありですが、最終的に反映・効果という点では市民の皆さんから出された意見についても、推進計画に反映できたと考えております。
- 【C委員】 私も反映・効果はなかったとか問題ありではないと思います。5件2人の意見がありますので、そこで市民参加がなされて何らかの反映・効果はあったと思います。今までの流れから見ると、市民参加手続きの評価も始まったばかりですしAをつけても

いいのではないのでしょうか。

【副会長】 私たちも本当に本質を掴んで評価するというのは非常に難しいので、今回基本的に緩めに付けるというのはいいですね。

【C委員】 市民参加という立場からしか見ることが出来ない訳で、事業自体の中身が上手くできたかどうかということではなく、そこに市民の声が反映される手続きがされたかどうかを評価するものです。市民参加とか事業の評価ではなく、市民参加手続き評価シートなのです。その手続きがちゃんとなされているのかを評価するものですから、パブコメもなされて5件の意見が出ているのでAかなと思います。

【会 長】 Aでいいですか。

【副会長】 そうすると例外なくAになってしまいます。

【C委員】 中にはCを付けたものもありますが、先程の緩めの考え方からすると、もう一度評価を確認したいのですが。

【副会長】 では、評価にもどりますが、実施時期についてはCでいいですね。

【C委員】 多少遅れたというのではなく、重なったということですからCを付けざるを得ないと思います。

【副会長】 それで、周知PRはA、参加人員もA、実施費用A、反映・効果はAでも良いという意見もありますがどうでしょう。

【C委員】 Aでいいと思います。

【副会長】 それではAとして、総合評価どうしますか。

【C委員】 ここが問題で、オールAでもA、Cがあるのに総合評価Aはどうかということでしたが、総合的には問題なければAで良いのではないのでしょうか。

【副会長】 そこは意見が分かれるかもしれませんが、皆さんどうでしょう。

【A委員】 Aで良いですが、パブコメは毎年される訳でしょうから、コメントで今後は計画的に遂行されていくことが望ましいというようなことを記載してはどうでしょうか。

【会 長】 それでは、最終的にCAAAAでよろしいのでしょうか。コメントとして今の意見を付すということでもいいですか。

【副会長】 総合的な流れでAにしたということで良いともいます。

【C委員】 パブコム5件2人ということに関してコメントしたいのですが、他のパブコメについても言えることなので、1件ずつ入れるより総評として入れれば良いのかとも思いますが、やはりパブコムの周知の徹底を今後期待したいということです。

【会 長】 次に移ります。「北広島市地域公共交通総合連携計画の策定」です。

【副会長】 私はオールAにしましたが、その他の意見はどうでしょうか。

【C委員】 実施費用ですが470万円となっていましたので、担当課に確認しましたところ、報告書作成委託費ということで、その中にアンケートも含まれており、アンケートの費用だけを抽出することは出来ないということでした。それで、当初Bと評価しましたがAでもいいのかと思います。

【会 長】 Aとしましたが、業務委託ということが気になりました。

【C委員】 相当ボリュームのある資料で、グラフ化したり分析結果を出したりというもので、アンケートの送付費用とか全て入った金額です。

【A委員】 アンケートの回収率44%ですが、こんなものですか。

【D委員】 アンケートの回収率は40%代が多いです。この後出てきますが、除雪、水道などは市民の意識が高いことから、回収率も高くなります。

【A委員】 この金額が高いか安いかわかりませんが、福祉などは3年に1回くらいアンケートを実施していますが、200万円位掛かります。

- 【D委員】 福祉系の計画は法律で3年に1回見直ししなければなりません。生涯、高齢、地域福祉等全部まとめて1千万円以上かかります。
- 【C委員】 この後も業務委託はありますが、このケースは費用全額がアンケート費用という訳でもありませんし、Aでもいいと思いますが、その資料を見ますと「充実した福祉を求めています」とか出来上がった資料が費用に見合ったものかというのは疑問もあります。
- 【副会長】 その点については、個別にではなく総評でコメントするという方法もありますね。
- 【A委員】 それで実施費用についてはAですかバー(一)ですか。
- 【D委員】 この業務委託費470万円の中身は、アンケート調査、OD調査というバスに乗る方についてどちらからどこまで乗るかという調査や、JR駅で西口に降りるか東口に降りるか、その方が高校生か主婦かなどという個別の調査も全て入った金額です。
- 【会長】 そのような利用者の実態調査とか全て入った調査とすれば、この金額も妥当な金額だと思いますね。
- 【A委員】 23年度は、パブコメとか市民参加手続きは実施しないのですか。
- 【D委員】 23年度は、市民の皆さんというより交通空白地域にお住まいの方がどのようなものを望んでいるのか、それらを地元に入ってお話ししていますが、市民参加手続きはありません。
- 【A委員】 反映・効果もAですか。
- 【C委員】 オールAなのですが多少気になった点が、審議会の人数が28人ということです。他の審議会のことですが20人も委員がいると一言も発言しない方もいました。この審議会も28人という人数が必要なのかという点です。道職員とかの肩書がついた人が3人もいますよね。
- 【D委員】 道路運送法で、委員の構成が決まっています。道の担当者とか運輸局の担当者もいますし、道路管理者が市道、道道、国道それぞれいますし、交通事業者もバス会社、タクシー会社からもそれぞれ入りますので、事業者側だけでも相当な人数になりますし、その組合の方も入ります。
- 【C委員】 入れざるを得ないということですね。そこは了解しました。そうであれば公募の委員も5人いますので市民参加は取られていますね。あとパブコメの日数ですが10日間しかなく短いと思います。パブコムに関しては30日間は取ってほしい気がしますので、コメントにその旨記載してもいいかなと思います。
- 【副会長】 新聞折込みをして周知は図っていますが、確かにパブコムの期間は短いですね。残念な点として、コメントに記載しますか。
- 【会長】 評価はオールAで今のようなコメントを記載するという事でよろしいですね。次の「学校跡施設利用活用計画の策定」です。これは10回の審議会を経て報告書が来ていますね。ただ、市民の声が反映されているかという心配はあります。
- 【A委員】 23年度にパブコメと意見交換会を予定しているわけですね。
- 【D委員】 22年度にPTAとか団地内の地区代表者、公募委員等で構成される審議会で、大きく分けて13の項目について報告をいただきました。広葉小学校は駅に近い、緑陽小学校は緑葉公園に隣接しているなど、それぞれ特徴があるので、それらの特徴を踏まえて検討し、その結果を再度住民から意見をいただくという形でパブコメや意見交換会を実施する考えです。
- 【会長】 この報告書が最終版ではなく、これを踏まえてまた市民から意見を聞くということですね。
- 【副会長】 今回は審議会だけでの評価となりますが、公募委員や傍聴人数も多いですし、審議

会としては比較的上手く行われている印象です。従ってオールAとしました。

【C委員】 私もオールAですが、あえてコメントで傍聴人の多さを評価したい。

【A委員】 審議会の結果を活かして、今後の意見交換会につなげてほしいとか記載しますか。

【C委員】 23年度にパブコメと意見交換会を実施する予定ですが、地域の方たちに身近な学校跡の利活用ですから、シンポジウムなど地域の人たちが集まって話をする機会を持ってほしいと思います。

【会 長】 コメントとして、この報告書を土台に意見交換会など今後に期待するということがいいですか。

【B委員】 評価としてはそれでいいですが、学校跡施設利活用は住民の生活などに非常に影響のあることなので、ワークショップを最初に実施し、地区住民の意見を聞いてから委員を公募し委員会を作る方が、住民の意見が反映すると思います。実際市ではそのような方法で委員会を作ったこともありますし、私も参加したことがあります。今回、市民推進会議に対する意見を持って集まるということで、私の意見ですが、まちづくりワークショップ、緑のワークショップとかを何回も開催し、その意見を委員会に提案するというのをやりましたが、この形態こそ市民参加だと思いますし、成果も現れます。この学校跡施設活用計画は、そこに住む住民も多いですし非常に身近なことです。これこそワークショップを実施してほしかったという気持ちです。確かにアンケートやパブコメも必要だと思いますが、事案によってはワークショップを開催してほしいと思います。

【C委員】 賛成です。初期の段階でいろいろな市民参加の手法を取り入れたほうが良かったと思います。

【A委員】 なんでもかんでもワークショップは必要ないが、新しい事案とかワークショップ必要な事案もありますね。

【C委員】 ワークショップでの意見を委員会に提案する形が良かったと思いますが、既に審議会が終わっていますから、初期の段階で実施すればよかったという考えです。それと審議会の構成員ですが15名と多いですが、これも構成員に入れなければならない職種とか制約があるのですか。もしそうでなければ、住民の生活に直結した問題としては、15人の委員枠に対して公募委員3人というのは少ない気がします。

【D委員】 第1住区～第4住区の代表者、PTA代表者が2人いますので、公募委員と合わせれば9人になります。

【会 長】 評価はオールAで、コメントに市民に身近な問題は、初期の段階でワークショップなどで市民の声を取り入れるべきだったということですね。次に「第2次きたひろしま男女共同参画プランの策定」ですが、これは審議会を3回開催し、パブコメは1人で9件の意見があったということですね。

【C委員】 参加人員が少ないという点がBであとはAです。

【副会長】 大きな問題はないが、広がりを感じないという印象です。

【C委員】 男女共同参画ですから女性が参加しやすいということなのかもしれませんが、委員構成が女性7人男性2人ですが、男女半々くらいがいいのではないのでしょうか。

【D委員】 公募の2名のうち1人が再任ということと、男性2人女性7人という構成がどうなのかなと思い、参加人員はCという評価です。

【会 長】 それでは第2次男女共同参画プランについての評価はどうでしょう。

【副会長】 参加人員については、広報に2ページ見開きでパブコメの意見募集をしているにもかかわらず、1人しか意見がないということは残念な感じ。それで参加人員は高い評価は付けられないと思います。ただCではなくBとして、反映・効果もBとしま

した。それで総合評価もBとしました。A A B A B Bとしました。

— 総合評価はAの声が多数あり —

【会 長】 それでは、A A B A B Aとします。

【C委員】 委員の男女比ですが、男女共同参画というのは女性より男性の意識の変革が重要だと思いますし、男2女7という比率自体が男女共同参画に合っていないですよ。

【副会長】 今までこのような場で女性の意見があまり反映されないから、女性を多くした構成の委員会もあります。

【会 長】 次の「当初予算の作成」に移ります。

【副会長】 パブコメの日数がちょっと短いですね。

【C委員】 パブコメの告知は必ず広報でされていますか。

【副会長】 年度当初に一覧で告知していますね。男女共同参画プランのように広報の紙面の中で計画案を載せて意見を募集しているケースもあります。

【D委員】 全てがそのように広報で意見募集というのは難しいです。広報に乗せるにはボリュームがあり数ページになるようなものを載せるということはできないですから、2段書き程度での告知で、あとはホームページで周知ということになります。

【C委員】 パブコメの告知は必ず広報に載せるということですよ。

【D委員】 パブコメの時期に応じて広報で告知しています。

【副会長】 パブコメの結果も、数が少ないですが広報に載せたケースはあります。高齢者支援課のふれあい温泉事業と福祉課の北広島福祉ショップのケースです。非常に効果的だと思います。どういう意見があり市がどのような回答をしたかというのが広報で1ページくらい載っています。このように市民とのつながりに工夫が出来ると感じました。

【C委員】 ホームページだけでなく、全て広報で結果公表をした方が良いですね。

【A委員】 この当初予算については新規項目ですね。新規項目と記載してはどうですか。ただこれは各課で十分内容が練られてきているので、事業内容ではなく予算額に対してだけのパブコメですね。

【C委員】 予算提案の前に、既に担当課で市民参加手続きが取られているということですね。ただ、このパブコメでの意見が予算に反映したのものもあると聞きましたから、市民参加手続きは適切と判断出来ます。

【会 長】 コメントで反映する事業もあつたと記載しますか。

【C委員】 予算ということで市民にわかりにくいですね。もう少し分かりやすい周知の方法とか検討できませんか。

【会 長】 自己評価で、来年は更に詳細でわかりやすい事業内容の説明をして行きたいとあります。パブリックコメント4人21件というのはどうですか。

【A委員】 21件は評価できますが、4人は少ないですね。

【C委員】 市民の関心度からみて評価はオールAで、コメントで予算という重要な案件であるから、市民に分かりやすい説明をされたいということですか。

【副会長】 毎年のことですからパブコメの期間も30日間は取るようにしてほしいですね。広報で結果の公表をしているとなつていますが、これはパブリックコメントの結果として公表されていますか。調べてみましたが今年の予算はこうなつていましてというのは特集であります。個々の質問に対する結果はホームページで公表されていますし、コメントをした人にも郵便で回答していますね。しかし、広報ではパブコメの結果である個々に回答したものが見つからないです。

【C委員】 広報で結果公表したとなつていますが、これは公表していないことになりませんか。

【副会長】 広報で結果公表すれば、予算に対する関心が高まるのではないのでしょうか。

- 【C委員】 パブコメの結果は、必ず広報でも公表すべきとしてもいいのではないのでしょうか。
- 【副会長】 総評で書きましょう。
- 【会長】 オールAでよろしいですね。では次「市の広報活動に関するアンケート調査」です。
- 【副会長】 これは広報にもアンケートの結果が公表されていました。アンケート調査だけですが、この結果を広報活動に反映させるということですから、問題ないと考えています。
- 【A委員】 広報にも結果が公表されていましたし、反省すべき点は正直に反省していましたね。
- 【C委員】 私もオールAですが、アンケートの対象者が20歳以上の市民となっていますが、もう少し若い世代にも関心を持ってもらえるように15歳以上でも良かったのではないかと思います。
- 【会長】 皆さんどうですか。
- 【A委員】 18歳以上でもいいのではないのでしょうか。
- 【C委員】 15歳ですと高校1年か中学3年くらいですから、このようなアンケートが届くと市民参加に関心を持つのではないのでしょうか。
- 【副会長】 無作為抽出するときに20歳以上が作業しやすいのだと思いますね。費用も安く済むのでしょ。補足的に若い世代の意見を聞く機会を設けるというのも提案できますね。
- 【会長】 20歳以上というのは、日本では成人ということですね。
- 【A委員】 市民参加については18歳以上でどうですか。
- 【C委員】 市民参加の機会を多く与えるという事を市民参加条例にも謳っていますので、対象は15歳以上でいいと思いますが、まずは20歳未満の意見も取り入れる手法も取ってほしいと思います。
- 【副会長】 広報は市民参加を伝えるメディアですから同感ですね。
- 【会長】 それでは、評価オールAで、今の意見をコメント欄に記載するというのでいいですね。次に「地域防災計画及び水防計画の改訂」です。
- 【A委員】 パブコメが1件もないがやむを得ないものと考えするという自己評価欄がよく分かりませんね。審議会も1回しか開催されていません。
- 【副会長】 この審議会は、関連機関の専門家の会議みたいな要素が強いですね。
- 【D委員】 災害対策基本法の中で市町村は地域防災計画を作りなさいとなっており、委員構成も決められています。都道府県の防災計画と整合性を諮る訳ですから、都道府県の許可も必要になります。非常に専門的な部分もありますので、なかなか市民には解り難いとは思いますが。それが良い悪いは別の議論になるとは思います。
- 【A委員】 この計画は国、道、市という縦構成の整合性を取らなければならないが、それが取れていないということですか。
- 【C委員】 整合性を取るための構成になっていると思いますが、その中に市民の意見が出てきても反映されないような専門的な計画書になるということですね。
- 【副会長】 今までではそれで良かったのかもしれませんが、今防災意識が地域で高まってきているので、この防災会議の在り方も今後は検討していただきたいですね。国が変わらないと変わらないでしょうが、市町村からも国に提案すべきですね。
- 【C委員】 公募委員をいれるのはダメということではないですよ。委員の上限が24人と決まっているとかありますか。
- 【D委員】 人数は決められていません。
- 【C委員】 例えば公募委員が3人入ってもいいのですよね。
- 【D委員】 かなりの専門知識が必要になります。
- 【C委員】 その壁は少しずつ変えてもらい、会議の内容が解らなくても市民が参加するべきではないのでしょうか。

- 【A委員】 自治会にアンケート調査がきたのですが、連合町内会では市と話し合いをして、ある程度煮詰まっていたのですが、突然あなたは防災意識がありますかというような内容のアンケートが来ました。連合町内会は今まで市と話し合ってきたのにこのアンケートは何だと怒りまして、このアンケートは無視したのです。
- 【D委員】 自主防災組織関係のアンケートですね。この地域防災計画とは違います。
- 【A委員】 そうですが、そのあと市(危機管理課)から、アンケートは提出しなくてもいいですといわれました。市の考え方はどうなっているのでしょうかね。
- 【副会長】 パブコムの結果も低調ですし、市民の関心を高める工夫が欲しいですね。
- 【A委員】 北海道とのすり合わせのための審議会を1回開き、その前にパブリックコメントを実施しましたというだけです。
- 【D委員】 確かにこれからは市民の意見を取り入れるということも必要ですが、専門的な部分がありまして、市民が取っ付き難い事案という気がします。
- 【C委員】 今まででしたら、審議会だけでパブコなんか実施しなかった分野のものでですね。市民参加条例が出来たのでパブコメを実施したのでしょうかね。異質で専門的で一般の人が入り難い分野ということですね。
- 【D委員】 そういう部分もあるということです。
- 【副会長】 地域防災計画ですから行政と住民が連携しなければならないことがいっぱいありますよね。普段から情報を共有していなければならないことですから、今後は市民参加の機会を増やすような方向性を検討することも必要だと思います。
- 【A委員】 パブコメは形式上実施したということですか。法律でパブコメを実施しなさいと決まっているのですか。
- 【D委員】 法律でそのようなことは決まっています。
- 【A委員】 一応市民の声を聞かなければならないからパブコメと審議会を実施したけど、市民とじっくりいっていないということですか。
- 【D委員】 そのようなことはないと思います。
- 【C委員】 水防計画とは、例えば河川の水位が災害により上昇することを想定して、護岸の高さとかコンクリートの厚さをどれくらいにするとか、そのような内容ですか。
- 【D委員】 そのような具体的なものはあまり入っていないです。例えば、この地区に水害が発生したらどういうルートで物資を搬送するかという道路整備の関係ですとか専門用語が飛び交う部分もあります。
- 【C委員】 一般の人の意見も取り入れて、それを専門家の人たちも考えて行くということも必要ですよ。
- 【会 長】 もともとは国や道の施策だったのでしょ。それを具体的に市民に分かりやすく説明してどういう形で反映させるというのが、なかなかスムーズにいけないのかね。
- 【副会長】 国も呑気なことを言っていられない状況ですから、今後その辺は変わって行くでしょうね。
- 【D委員】 今まで避難所に指定していたところで犠牲者が出たという事態ですから、もう一度見直しをしなければならいと思います。3月に地域防災計画を作成して国も道も認めたわけですが、3月11日の大震災でもう一度見直しをすることになりました。
- 【C委員】 また見直しをかけるということですから、今後は市民参加に窓口を開くような方法を取った方が良くと思います。
- 【副会長】 今回の評価としては、参加人員が非常に少ないですからここはBとして、あと周知PRは広報にも掲載していますから悪くはないと思います。

- 【C委員】 参加人員はBで、反映効果も参加人員が少ないのでBかCと判断しました。実施時期に関しては特に問題ないと思います。周知PRについては反映効果がないので、周知の方法に問題があったとも判断できます。防災に関してですから、町内会回覧という方法をとっても良かったのではないかと思います。
- 【会長】 参加人員B、実施費用は審議会費用だけですからA、反映効果はB、総合評価Bですか。
- 【副会長】 市民参加としては、高評価はしにくいと思います。
- 【会長】 それでは、ABBABBでよろしいですか。
- 【A委員】 コメントに、今後は市民の声の反映を望むというようなことですね。
- 【会長】 この計画は道も市も見直そうとしているわけですか。
- 【D委員】 国も含めてもう一度見直すという話が出ています。
- 【会長】 それでは、次に「第2次環境基本計画」です。
- 【C委員】 アンケート実施時期の23年は22年のミスプリですね。自己評価である程度評価されていますから、自己評価されている点について更なる努力を期待するとしました。
- 【副会長】 パブコメの実施時期が遅くなったのが少し残念ですね。全体のスケジュールが押しな感じなので、実施時期はBで後はAです。
- 【会長】 自己評価で多くの関係団体との意見交換とありますが、関係団体とはどのような団体でしょうか。
- 【事務局】 担当課に確認します。
- 【副会長】 実施時期Bで後は全てA、総合評価Aでどうでしょうか。
- 【会長】 それでは、BAAAAAでいいですか。
- 【副会長】 後は関係団体を教えていただければいいです。
- 【会長】 次は「生ごみの分別収集」です。7会場で67回市民説明会を実施していますね。アンケートも54%回収されています。
- 【副会長】 出前講座も実施していますし、生の声を受け止められているということで、オールAとしました。
- 【C委員】 ゴミ問題はかなり市民の関心が高い事案ですよね。説明会も行けないしアンケートも届いていないという人もいたのではないかと思いますので、パブコメも併用して欲しかった気がします。
- 【副会長】 コメントにパブコメも実施して欲しかったとして、評価はオールAでいいですか。
- 【D委員】 周知PRと参加人員はBにしました。ゴミの問題は大きく言って2回目です。1回目は有料化で今回は分別です。1回目の有料化の時は大変多くの市民が集まり、我々も朝6時からゴミステーションに立ってPRさせていただきましたが、今回67会場で1,354人と意外と少ない。モデル地区も設定して実施したのですが、今生ゴミに出されているのは4割しかないのです。6割は普通ゴミとして出されています。結果としてあまり協力していただけていないというのは、周知PR不足とも取れます。
- 【C委員】 生ゴミを分別するという点に関して、市民の意見を聞き事業が始まったという市民参加に問題はなく、事業自体が上手くいっていないということですね。説明会の参加者が1,354人というのは少ないということですか。
- 【D委員】 少ないと思います。
- 【C委員】 数字だけみると、パブコメの0とか1人とかばかり見ているので、参加者1,354人という数字はすごい数字とってしまいます。西の里会館に64名、69名集まるというのはなかなかないことです。
- 【A委員】 他の事案から見ると市民の関心が高いわけですから、この数字は反映されていると

思いませんか。

- 【D委員】 1月から試供品を配布して2カ月半くらい試行した結果としては少ないという感じ
です。
- 【副会長】 分別は市民の努力目標で、効果としては反映されていないということですよ。
- 【A委員】 市民参加としてはよくやっているのではないですか。
- 【D委員】 もっと周知PRすべきだったのではないかと考えられます。
- 【C委員】 今後40%の収集率を更に上げて行く上でPR活動は必要かもしれませんが、市民参
加手続き評価ですから手続きに関しては問題ないと思います。生ゴミの分別に関して
市民の皆さんに関心を持って下さいというPRは担当課が一生懸命取り組むことでは
ないでしょうか。事業の中身に関するこの会議が言及することは必要ないと思
います。
- 【D委員】 事業の中身そのものではなく、説明会が67回で良かったのかどうかです。
- 【会 長】 私の町内会でも一番多い苦情がこの生ゴミのことで、なぜ卵の殻やトウキビの皮を
生ゴミに出せないのかという理解が全くされていませんね。何故分別するのが徹底
されてないのです。
- 【A委員】 市民参加としては、担当課は前回の苦労もあるし良くやっているという考えです。
- 【副会長】 パブコムもやってほしかったとは思いますが、コメントに書けばいいですね。
- 【会 長】 はっきり市民が理解できるような分かりやすい説明があればいいと思いますね。
- 【C委員】 アンケートがサンプル数350と他のアンケートと比較して非常に少ないですが、こ
れくらいで判断できるということですか。
- 【D委員】 これはモデル地区のアンケートです。市内3か所のモデル地区の全世帯に協力して
いただきました。その結果も踏まえて4つに分けたのです。
- 【会 長】 オールAでいいですね。次に「(仮称)北広島ショップの開設について」です。自己評
価欄に多くの市民の声を反映したとありますが、どうなのでしょうね。
- 【A委員】 このショップは一般のショップのレベルから見て稚拙だなと感じます。こなれてい
ない感じがします。
- 【副会長】 それはちょっと別の問題ですかね。直接市民参加手続きに関係しますか。
- 【A委員】 市民の声が反映していないからこなれた感じがしないのだと思います。資料を委員
に持って回って意見を聞いただけですから、市民の声が反映していないのです。
- 【会 長】 利用率、売上などは上手くいっていないように見えます。
- 【C委員】 開設に当たっての市民参加手続きに関しては問題ないと思いますが、今後の運営に
関して更に市民の意見を取り入れることを考えてほしいと思います。
- 【A委員】 開設している場所もいいし、もう少し市民の声を取り入れて、こなれた感じの店に
してほしいですね。
- 【C委員】 市民の声も大切ですが、やはりショップとなるとプロのアドバイザーが入らないと
難しいですが、そうすると予算の問題もありますよね。
- 【副会長】 周知が遅かったというのもありますね。市民参加手続きの年度当初の予定にこの事
業は入っていませんでした。
- 【C委員】 確かにパブコムから開設までの期間はあまりないですね。そういう意味では周知PR
が遅かったということでも言えます。せめて半年か1年くらい前にパブコメをやっ
ても良かったと思います。
- 【副会長】 そうなると、実施時期が遅いということでB、周知PRも十分ではなかったですね。
- 【C委員】 反映効果もBで総合Bですか。
- 【会 長】 既に運営協議会で運営していますが、宣伝とか魅力ある陳列方法や商品開発など、

プロの手が必要な気がしますね。

【C委員】 運営に関しては、更なる市民参加をというコメントを入れてほしいです。

【会 長】 今のところオールBですか。

— 費用はAとの声が多数あり —

【会 長】 費用だけAであとはBとして、B B B A B Bでいいですね。

【C委員】 パブコメに関して、5件2人というのはどうですか。

【A委員】 少ないと思います。

【会 長】 次にいきます。「ふれあい温泉入浴助成事業」65歳以上の高齢者を対象にしている温泉入浴助成事業です。自己評価の2行目に書かれている1回500円年10回を300円年12回にしたとありますが、竹山高原温泉の入浴料は100円ですよね。

【C委員】 これは助成額ですから、対象者が支払う額ではないですね。入浴料は600円ですが市の助成額が500円で個人負担100円ということです。

【副会長】 広報にパブコメの結果が公表されています。

【C委員】 対象者が65歳以上であり、パブリックコメントだけではなく、老人会とかの団体に意見を聞いてもよかったのではないのでしょうか。

【A委員】 高齢者の福祉審議会で議論になりました。

【会 長】 自己評価に今後は利用者の利便性に配慮し、利用促進を図るとありますが、利用者の利便性に配慮とは具体的にどのようなことなのでしょう。

【A委員】 西の里の森の湯とクラッセホテルを加えた今回の見直しのことが、利便性に配慮をということですね。

【C委員】 この自己評価は、市民参加に対する自己評価ではなく、事業に対する自己評価ですよ。

【会 長】 オールAでいいですか。

【C委員】 コメントもなしでいいですか。広報、ホームページにより周知はしていますが、対象者が65歳以上ですから、パブコメだけでなく他の手法も取り入れて欲しかったと思います。

【A委員】 全体の高齢者対策で審議会も実施しています。その中で出てきたのがこの金額と対象施設を増やすということなのです。

【会 長】 それではオールAでいいですね。次に「第5期介護保険事業計画策定」です。

【副会長】 これはアンケートを委託で実施していますね。この調査の報告書を見たのですが、なかなか面白いもので、市民や業者も活用できる調査ですから、もっとPRし市民が活用できるようにしてもらいたいですね。

【A委員】 23年度に計画策定の審議会をやりますよね。なぜこの表に出ていないのですか。

【D委員】 保険福祉施策検討委員会の高齢福祉部会ですね。

【A委員】 アンケートは1回でいいですね。その結果を次につなげていくのですからね。

【C委員】 65歳以上で要介護3・4・5の方を除くというのは理由があるのでしょうか。

【副会長】 要介護の重い方でなく、日常生活が出来ている高齢者の方に対して、地域社会で上手く生活出来ているかという調査ですね。例えば、買い物弱者の問題や階段を2階まで上がるかというような、ある程度層を絞った調査ですね。回収率が郵送回収で80%あるので、市民には切実な問題で協力されたと思います。この報告書はいろいろなことが分りますから、多くの方に見てもらいたいです。

【C委員】 介護者を抱えている家族からの意見というのはないのですか。

【副会長】 当事者だけですね。介護者ではないですね。

【会 長】 そういう人たちからの意見も取り入れた方がいいということですか。

- 【C委員】 そうですね。
- 【D委員】 65歳以上で介護者を抱えているという方であれば、対象になっていることにはなりません。
- 【A委員】 年齢とか、在住とか通いとかそれぞれに数値を取っていますが、これは業者に依頼していますか。市でやっていますか。
- 【D委員】 委託しているかもしれません。
- 【A委員】 細かく情報を集めないと、保険料が算定出来ないのです。保険料の算定が一番難しいのです。
- 【会 長】 オールAでいいですね。次に「北広島市東の里地区遊水地利活用計画の策定」です。これもパブコメ0件ですが、この遊水地計画というのは市民にはわかり難いですか。
- 【C委員】 よくわからない計画なのですが全体的にはAで、パブコメが0なので参加人員はBにせざるを得ないかと思います。それと地元の人も審議会に入っていますか。
- 【D委員】 昔でいう拓北という地区ですが、そこの方や農業者の方たちが委員で入っています。
- 【C委員】 審議会があるので、いろんな意見が出されるので問題ないと思います。
- 【会 長】 遊水地というのは洪水対策ですか。
- 【D委員】 千歳川放水路の代わりに、この流域全体で遊水地を作る計画です。これから工事が始まる場所です。
- 【C委員】 事業は進んでいないと聞いていますが。
- 【D委員】 用地買収は大体終わって、今土質調査を行っていますので、近いうちに工事に入れると思います。
- 【C委員】 審議会ではなく懇話会ですね。23年度は全く何も市民参加手続きが予定されていませんが、事業自体が進んでいないということですか。
- 【D委員】 10年くらいかかる計画ですので、まだバフラっとした計画です。これから土質調査とかを進めて行かないと具体的なものが出てこないと思います。
- 【副会長】 市民の反応も鈍いですよね。
- 【C委員】 遊水地というのは河川敷の利用みたいなものですか。それとも池ですか。溢れた時にそこに水がたまり洪水を防ぐというものですよね。
- 【D委員】 そうです。
- 【会 長】 普段は水がないのですか。
- 【D委員】 水はありませんが常にジメジメしています。
- 【A委員】 人は居られるのですか。
- 【D委員】 堤防で囲いますから、人は居られません。ただ、高さ的に何段階かになりますので、一番高いところは、市民の交流が出来る場所が作れないかということは考えています。
- 【A委員】 この地域に人は住んでいるのですか。
- 【D委員】 移転は完了しました。もともとは農地でした。
- 【C委員】 今後具体的な計画を策定するに当たって、市民参加の手続きを踏んで市民の意見を取り込んでほしいということしか言いようがないですね。
- 【D委員】 まだその段階にもいってないと思います。ほかで工事を着工しているところをみると、かなり土質が悪く、関心を持っている皆さんがここで何かできるかと考えているようですが、そうはならないみたいです。堤防も掘った土を利用しようと考えていましたが、それも無理ではないかと、かなり難問が出てきています。
- 【C委員】 そのように早い段階でパブコメや審議会をやっているというのは、市民参加の考えから言うと間違っていないわけですよね。
- 【副会長】 そうすると、参加人員はBでほかはAでいいですか。反映効果はどうでしょうか。

- 【A委員】 反映効果はバーでいいのではないですか。
- 【副会長】 反映効果はバーで総合評価もバーですか。仕方ないでしょうね、担当者の努力と違うところでいろいろ問題がありそうですね。
- 【C委員】 計画の策定ですから、計画の進行に合わせて適正な市民参加の手続きをとるようにとしか言えないですね。
- 【会 長】 それではA B A (一) Aでいいですね。次の「街区公園整備事業」です。
- 【A委員】 これは、前からワークショップを開催していますし、これでいいのではないですか。
- 【副会長】 周知方法が町内会回覧だけでいいですか。
- 【C委員】 周知PRはBにしました。参加人員もB、反映効果もBにしました。
- 【副会長】 ホームページなどで、計画の概要は周知したほうがいいと思いますし、全市的なチャンネルがまったくないというのはどうでしょうか。
- 【C委員】 事業の名称にあるとおり街区公園ということで、地域のものだからその地域の人の意見を聞けば十分だという考え方でしょ。
- 【D委員】 昔の都市計画の区分で言うと児童公園ですね。
- 【A委員】 その街区の隣くらいの子供さんは使うのですね。
- 【D委員】 その程度というものしか考えていません。それ以上になりますと近隣公園ですとありますね。
- 【A委員】 建設部は昔から事業をやってきた実績があって、状況はそれなりに把握しているのですね。
- 【副会長】 自分たちのところに同じように公園が出来るとしたら、ほかの街区公園について参考にしたいとかあるでしょうから、もう少し全市的な周知も必要ではないですか。
- 【A委員】 回覧で十分でしょう。周辺地域まで広げてもいいですけど回覧で言いと思います。全市まで広げる必要はないと思います。
- 【副会長】 ホームページで周知してもいいと思います。市民参加と考えるともう一步情報を公にしてほしい気がします。
- 【会 長】 自己評価に会場が近くにないのが難点とありますが、どういう意味でしょうか。
- 【D委員】 大曲幸地区でして、三井のアウトレット付近です、周辺に地域の集会所というものがないのです。そのため大曲会館で説明会を実施したので少し地域から離れてしまったということです。
- 【A委員】 全市に知らせる必要はないと思いますがどうでしょう。周辺だけでいいでしょう。
- 【副会長】 参加を呼びかけるのは町内会や近隣だけでいいでしょうけど、街区公園をつくるのにワークショップを開催しますという情報は共有してもいいと思います。市はこのような公園を作るときも参加手続きをしているというPRにもなります。
- 【D委員】 このような公園は、地域の中で管理していただくという段階にきていると思いますし、市全体にPRしなくてもいいような気がします。
- 【副会長】 PRはともかくとして、街区公園の整備とか地域の日用的なものを整備するといふときに、どこかで同じ様なことをしているのを知っていた場合、参考になるのではないのでしょうか。
- 【D委員】 この様な公園を整備したという結果は、ホームページなどで公開する必要がありますが、その結果が公表されていないです。今年度このような事業を実施しましたという情報は広く出していく必要はあります。
- 【A委員】 ワークショップを実施したときに、今までのノウハウなどは話しているのでしょうか。
- 【副会長】 結果だけでもいいですが、街区公園に関することはその地区だけでいいと認めてしまうのは残念な気がします。この議論は昨年もありました。

- 【A委員】 その地区だけでいいと思います。
- 【C委員】 例えば、ブランコを置くかとかの話なら、地域の人たちだけでいいでしょうけど、市民参加で地元の要望を取り入れてこのような公園になりましたという、市民参加の成果としてホームページと等で報告すると、そのような要望が通るのかという情報発信にもなります。
- 【D委員】 市としては、このようなものがこのような形でできましたという情報は発信しなければならないと思います。
- 【副会長】 そのようなことをコメントに記載しましょう。
- 【会 長】 オールAですか。
- 【C委員】 参加人員は少ない気がします。地区公園の整備に対する市民参加はこの程度ですか。
- 【D委員】 区画整理が終わったばかりですから、そんなに住民が多い地域ではありません。
- 【A委員】 ここは、このようなものでしょう。ほかのところなら10人以上出ますか。
- 【D委員】 北広団地の公園を修繕しますので、地域の住民の意見を聞きますと会場をセットしても、会長と副会長しか来なかったというケースもあります。
- 【C委員】 周知PR不足とも言えますかね。回覧も何枚も重なっていると上の方だけ見て中の方を見ない方もいますので、きめ細かい周知といえるのかですね。
- 【会 長】 先ほどの副会長の意見と合わせてコメントすることとし、オールAいいですか。
- 【C委員】 周知PRはBでどうでしょう。
- 【A委員】 Aでいいです。
- 【C委員】 回覧だけでいいのですか。若い人の中には回覧見ない人もいますよ。
- 【A委員】 ほかに何をすれば人が集まるのですか。
- 【C委員】 広報までは出す必要はないけど、ホームページで出してもいいでしょう。ホームページは費用をかけないで周知できる手段ですから。
- 【A委員】 じゃあAですか。
- 【C委員】 とすれば、周知PRはホームページでも出したほうがいいということですよ。
- 【D委員】 コメントとして、周知方法と結果の公表などの工夫が必要ということでもいいですか。
- 【会 長】 評価はオールAでいいですね。次は「雪対策基本計画」です。これはアンケート調査の回収率が58%ですね。
- 【C委員】 今回の市民参加手続きに関してはオールAです。コメントとして電話での苦情とかが結構あると思いますので、日常の市民の声も参考にしてほしいということです。
- 【副会長】 このアンケートは9月に実施していますね。市民側としては積雪の後のほうが実感的な回答ができたのではないのでしょうか。
- 【C委員】 この計画は何年に1回とかのものですか。
- 【D委員】 雪対策基本計画は今回初めての計画です。
- 【C委員】 その年の雪に間に合わせてというような計画ではないのですね。
- 【D委員】 これから先の雪対策をどうするのかという計画です。
- 【A委員】 審議会もやるのですか。
- 【D委員】 審議会もやります。
- 【C委員】 アンケートの対象が30歳以上という理由がわかりません。
- 【会 長】 アンケートの内容がわかれば、理由もわかるかも知れないですね。
- 【D委員】 道路の除排雪だけでなく、屋根の雪下ろしとか全部含めて30歳以上としているのかもしれない。この除排雪問題は、いつ実施しても市民の方の関心が高い問題です。
- 【会 長】 オールAでいいですね。
- 【C委員】 コメントなしですか。

- 【A委員】 最初の計画ですから、審議会ですっきりとした議論してほしいですね。
- 【C委員】 計画策定に当たり、日ごろの市民の声を聞くということでもいいですか。
- 【会 長】 次の「商工業基本計画の策定」です。ワークショップが4回、パブコメが意見0、審議会が4回です。
- 【副会長】 審議会、ワークショップの記録が公表されていないですね。傍聴席を設置したことで記録の公表としていますが、基本的に問題ではないでしょうか。それで周知の評価をCとしました。実際に調べてみましたがホームページでは見つかりませんでした。
- 【A委員】 ワークショップ4回となっていますが懇話会ですよね。これは審議会ではないのですか。
- 【事務局】 担当課に確認しましたが、担当課ではワークショップという位置づけです。
- 【D委員】 ワークショップの出席者は、関係している団体の方たちですよね。
- 【事務局】 出席者は懇話会の委員さんで、ワークショップ形式とのことです。
- 【副会長】 ちょっと誤解していますよね。ワークショップというのは出席者を固定しないとかあるいは配分しないものです。
- 【A委員】 これは審議会でしょう。
- 【C委員】 懇話会が終わってから審議会が発足しているのでしょうか。
- 【A委員】 懇話会をやって審議会も一緒にやったということではないですか。
- 【副会長】 懇話会が先行して後で審議会に発展したのですね。
- 【A委員】 このワークショップと審議会は、同じ日にやった同じものではないのですか。
- 【C委員】 ワークショップは5月31日に第1回で最後が9月15日ですし、審議会は9月から10月にかけて4回ですから別物です。
- 【A委員】 実質審議会が8回ということですね。
- 【会 長】 懇話会が4回、審議会が4回ということですね。
- 【A委員】 23年3月に策定ですから、もう終わったのですね。アンケート調査を22年度に1回やっただけですね。
- 【副会長】 記録の公表がないのです。市民が知りたくても傍聴しないとわからないということですので、ちょっと深刻で、本当ですかって聞きたくなるケースです。公表なしですから、周知PRはCと評価しました。
- 【C委員】 審議会の委員は公募していますよね。
- 【A委員】 実施時期はAですね、参加人員もAですね。
- 【C委員】 パブコメの意見が0でAですか。
- 【A委員】 費用も反映もいいですね。ということは総合Aですね。
- 【副会長】 市民との関わりがあまりないように思います。パブコメの意見は0で審議会懇話会は記録を公表していないので内容がわからない。
- 【C委員】 この基本計画というのは上位計画がありますか。市の総合計画にあるとかですね。
- 【D委員】 計画はすべて総合計画につながりますが、これは商工業基本条例という理念条例がありまして、それを受けて具体的な計画を立てて商工業の振興を図るという計画です。
- 【C委員】 何年間の計画ですか。毎年立てているものではないですよね。
- 【副会長】 基本計画原案というのは、広報に出ていました。
- 【会 長】 商工業基本条例とこの計画の整合性がとれているか諮るために、審議会や懇話会を開いたのですか。
- 【D委員】 条例に基づいて、この計画の中ではいろいろな施策を計画していますが、この計画では懇話会等を開いて計画素案を作成し、パブコメをかけて意見はありませんでしたが、その後審議会の中で議論をして最終的に決定したとなっています。確かに周知方

法については、問題あると思います。

【C委員】 この懇話会や審議会は、議事録はなくてもいいのですか。

【副会長】 そこが微妙でマニュアルによりますと努力目標なのです。ただ市民参加条例の精神としては議事録のない審議会は市民に見えないことになりますので問題です。それが何故公表されていないのでしょうか。遅れても公表されればいいとは思いますが。

【D委員】 計画書の後ろに、審議会でこういう意見がありましたと載っていますので、計画書に載せるのであればホームページで公表すれば問題ないのには思いました。

【A委員】 それも議事録ですからね。一字一句の議事録作る必要はないわけですから。評価はACAAAAですか。

【副会長】 総合はBです。Aとは言えないです。反映効果もわからないですからBでしょう。

【A委員】 (バー)でいいでしょう。

【会 長】 実施時期はA、周知PRは副会長Cといいましたが、今日は甘く評価していますのでBでどうですか。

【副会長】 これははっきり改善してもらいましょう。議事録が見えないと市民が参加できません。遅れても公表してもらわなければなりませんよ。このように記録を公表していないという事例はないです。

【C委員】 これはCでしょう。

【会 長】 周知PRはCとして、参加人員A、実施費用Aですね。

【C委員】 参加人員はAですか。パブコメ0件ですよ。

【副会長】 Bですよ。

【D委員】 0件ならBというのはどうでしょうか。

【A委員】 Aでいいのではないですか。

【C委員】 パブコメだけでなく審議会も開催していますからね。参加人員はAでいいですか。

【副会長】 Bでいいのと思います。今までパブコメ0件はBにするという流れでしたよね。

【C委員】 パブコメに関してはBでもいいですが、ほかの市民参加手続きもあります。委員も公募しています。

【A委員】 この計画の上位法律はなんですか。

【D委員】 上位法律はありません、市単独の事業です。

【会 長】 ACBABBBですか。

【A委員】 反映効果は(バー)です。

【副会長】 わからないのですから(バー)ですね。

【C委員】 コメントで議事録の公開することなど書いたほうがいいですね。

【事務局】 先ほどの「雪対策基本計画」のアンケートの調査対象ですが訂正します。30歳以上ではなく、無作為抽出で世帯主に回答してもらったとのこと。

【会 長】 最後になります「水道ビジョン策定」です。審議会8回アンケート調査結果は53.7%です。

【副会長】 特に問題はないですが、アンケート調査の項目とか回収率とかの内容をみると、委託料が高いような気がします。

【C委員】 アンケートの内容を見ていないので高い安いはわかりませんが、アンケートの内容をどのような意見を市民から聞きたいのか絞り込んで、内部で作れるもので十分なものもあります。

【副会長】 内部でアンケートを作成しているものもあります。スタッフの人数とか一概に比較できないかもしれませんが、同じ1,500のサンプル数で回収率も同程度で、委託料がかかっていないものもあります。

- 【C委員】 報告書として作成しているの、結果をグラフ化したりデータ処理したりするの
でまとめたものを成果として作成しているものなのでしょうか。
- 【D委員】 印刷製本費が20,400円ですから成果物ではなくて、紙代程度だと思います。
- 【C委員】 アンケート自体の印刷製本代ですか。
- 【A委員】 郵送料が高いですね。1通当たり700円くらいですか。
- 【D委員】 これからのビジョンの作成ですから、分析解析料が委託料の主なものだと思います。
- 【会 長】 いろいろ調査もしているわけですね。北広島市には水源はないのですか。
- 【D委員】 ありません。
- 【会 長】 そうであれば、調査に費用がかかるのも仕方ないですね。
- 【D委員】 アンケートには直接関係しませんが、そうかもしれません。
- 【C委員】 問題ではありませんが、男性5人女性5人内公募2人と審議会としては理想的な配
分ですね。
- 【D委員】 水道審議会は30年位前から女性が複数入っていました。
- 【C委員】 ずっと同じ人ですか。
- 【D委員】 違いますけど、当時から女性委員が入っていました。
- 【C委員】 どこかの団体の人が常に入っているということですか。
- 【D委員】 そういう訳ではありません。
- 【C委員】 女性が水道に関心があるということですか。
- 【D委員】 北広島市は水源がないということでどうしても料金が割高になってしまいますので、
家計を預かるということでは、女性にも入っていただいています。
- 【副会長】 オールAでいいですね。
- 【会 長】 評価は終わりましたが、次回はコメントを含めて完成品にするということになりま
すね。
- 【A委員】 全体評価もですね。
- 【会 長】 次回の日程はどうしますか。7月中に開催ですね。
- 【D委員】 評価とコメントを事務局に起こさせて評価シートを作成し、次回その修正というこ
とでどうですか。その方が早いと思います。
- 【副会長】 そうですね。
- 【会 長】 それでは、次回は14日の9時半からとします。これで第18回市民参加推進会議を
閉会します。

以上この議事録が正確であることを証するため、議長及び議事録署名人は次のとおり署名押印する。

議事録署名委員

議事録署名委員